

穴粟市公共施設等総合管理計画  
個別計画

観光・レクリエーション施設

穴粟市

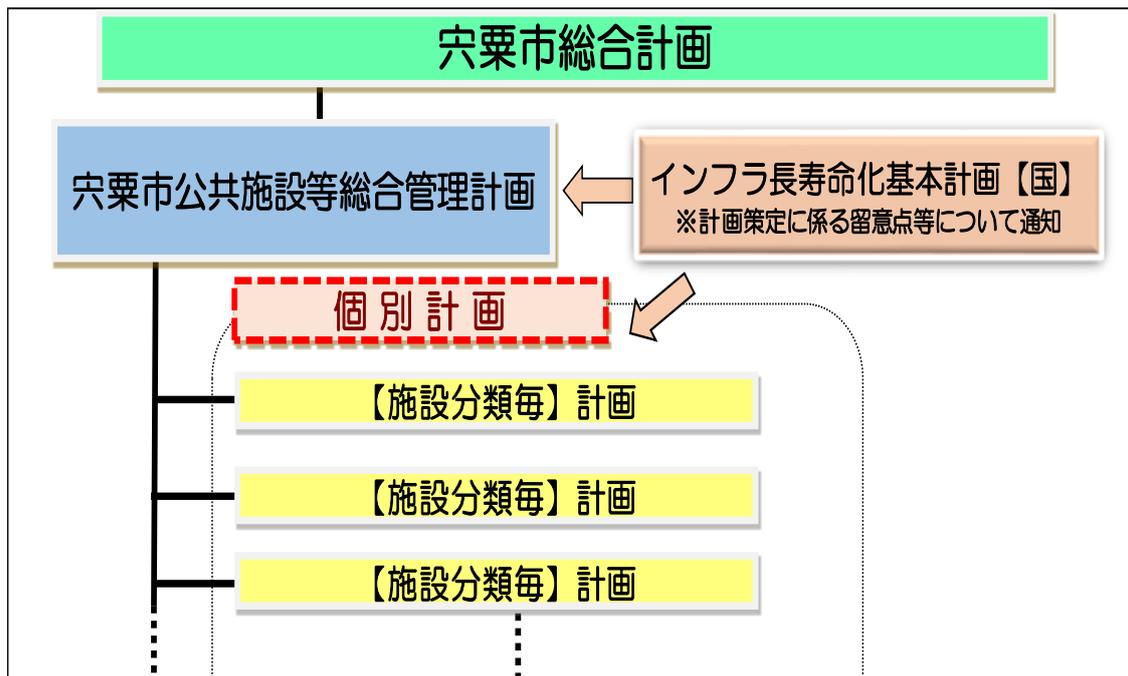
## 1 個別計画とは

個別計画とは、宍粟市における公共施設・インフラ資産の機能・規模・配置について総合的に分析し、計画的・効率的に更新・改修等を実施することにより、公共施設等の最適化の実現を図るため、平成28年2月に策定した「宍粟市公共施設等総合管理計画（平成28年度～令和7年度）」（以下、「総合管理計画」という。）に基づき、市の施設の分類ごとの維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策内容、実施時期、対策費用等を定める計画です。

## 2 計画の位置づけ等

個別計画は、まちづくりの最上位計画である「宍粟市総合計画」のもと、公共施設等の総合的かつ計画的な整備に関する基本方針を定めた総合管理計画の下位計画として位置づけます。また、内容については国が示す「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月29日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）に沿って作成しています。

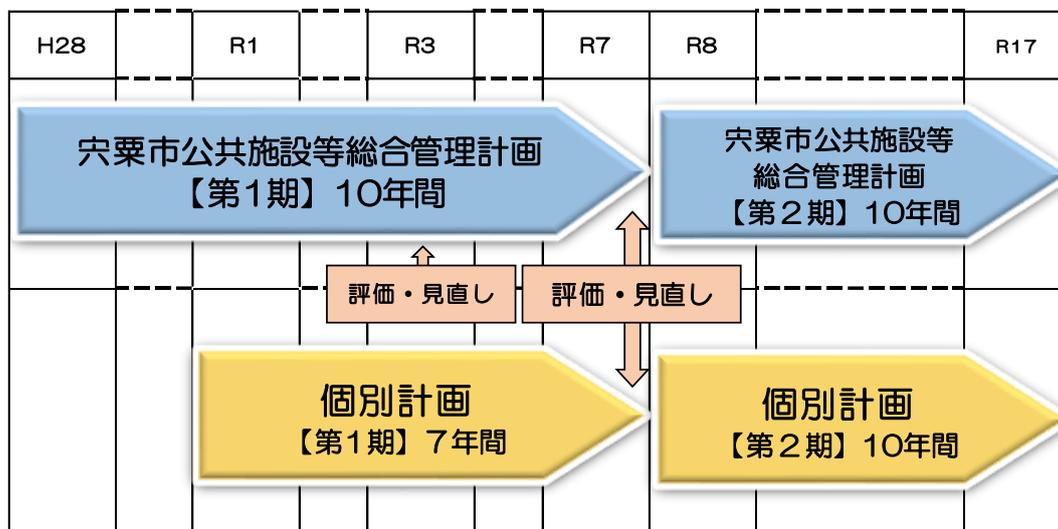
### 公共施設等総合管理計画と個別計画の体系イメージ



### 3 計画の期間

個別計画の期間は、総合管理計画の評価・見直し時期に合わせ令和元年度から令和7年度までの7年間を第1期とします。第2期以降については、総合管理計画に合わせ10年間とします。ただし、社会情勢等により変更が生じた場合は、その都度見直しを行い計画に反映させるものとします。

#### 計画期間イメージ



### 4 これまでの取組結果及び目標について

総合管理計画では、平成28年度から令和7年度までの10年間で公共施設の延床面積を6.2%削減することを目標としています。平成28年度から令和5年度末までの8年間で、2.3%の削減となっており、目標達成のためには残り2年間で3.9%の削減が必要となっています。

目標達成のため、今回策定した各分野の個別計画に基づき、計画を実行していくことは言うまでもありませんが、更なる削減に向けて取り組んでいくことが必要です。

#### 8年間の削減内容

	平成28年度	令和5年度末	増減
	延床面積	延床面積	
合計	276,312.19 m <sup>2</sup>	269,951.24 m <sup>2</sup>	-6,360.95 m <sup>2</sup>

目標削減延床面積 (H28面積の6.2%)	8年間の削減延床面積	達成% (令和5年度末)	備考
17,131.36m <sup>2</sup>	6,360.95m <sup>2</sup>	2.3%	

## 5 優先順位の考え方等について

施設の方向性等を検討する上で、施設のハード面、ソフト面の評価等を行い、その結果をもとに、存続廃止分類表に当てはめ、原則として、該当する区分での方向性を検討しています。

### 【ハード面の評価】

ハード面については、残償却年数、建物残償却割合等を参考に以下の判定基準によりA～Dに分類しています。

※残償却年数＝建物耐用年数－経過年数

※建物残償却割合＝残償却年数／耐用年数×100（数値が低いほど残償却が少ない）

#### ハード面の判定基準

判定区分	内 容
A	・全体的に健全である。 ※緊急の補修の必要はないため、日常の保全で管理できる状態である。
B	・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ※緊急の補修の必要はないが、維持保全での管理の中で、部分劣化について定期的な観察が必要な状態である。
C	・全体的に劣化が進行している。 ※現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、更新等が必要な状態である。
D	・全体的に顕著に劣化が進行している。 ※重大な事故につながらる恐れがあり、建物の利用禁止、あるいは緊急の修繕等が必要な状態である。

ソフト面については、判定基準の4つの区分毎に評価を行い、評価を点数化し判定基準表によりA～Dに分類しています。

#### ソフト面の判定基準

区分	評価及び点数	内 容
公共性	a：高い（3点） b：普通（2点） c：低い（1点）	法律等による設置義務があるか
		市民が生活を送る上での必要性は高いか
		市の施策を推進する上での必要性は高いか
		サービス内容及び利用実態が設置目的に即しているか
有効性	a：高い（3点） b：普通（2点） c：低い（1点）	施設の利用状況（稼働率等）はどうか
		今後の利用者数等の見込みはどうか
効率性	a：高い（3点） b：普通（2点） c：低い（1点）	民間事業のノウハウ等を活用し効率良く管理運営を行えているか
		維持管理費に対する利用料等の収入割合はどうか
特質性	a：高い（3点） b：普通（2点） c：低い（1点）	歴史的、文化的価値のある施設か
		他の施設では代替の効かない施設であるか

ソフト面判定基準表

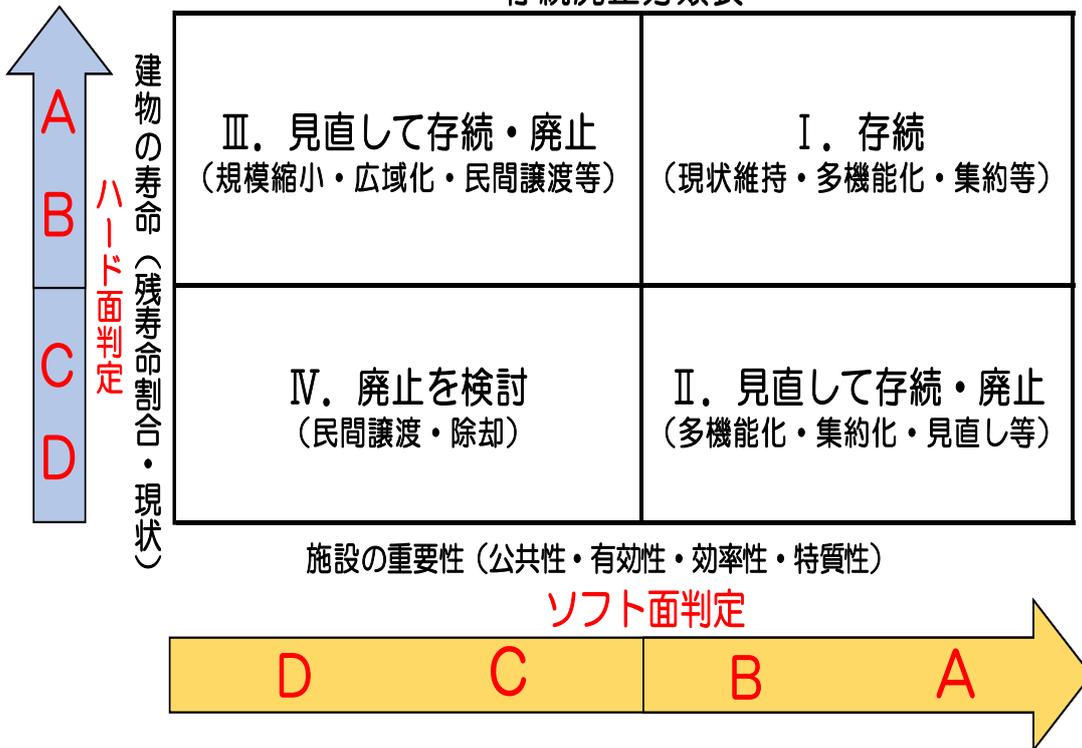
判定	A			B		C		D	
点数	12	11	10	9	8	7	6	5	4

例) 公共性a、有効性b、効率性b、特質性bの施設の場合  
 3点 (a) + 2点 (b) + 2点 (b) + 2点 (b) = 9点  
 9点=ソフト面の「判定」は「B」となる。

【存続廃止分類】

ハード面、ソフト面の結果をもとに以下の分類表に区分し、原則として、該当する区分での方向性を検討することとしています。

存続廃止分類表



例) ハード面がC、ソフト面がAの場合 → 存続廃止分類は「II」で方向性を検討

## 【判断結果】

判断結果については以下の表により施設の方向性を記載しています。

存続廃止分類	存廃	方向性	内容例
Ⅰ	存続	現状維持	現状のまま維持
		多機能化	分類の違う別の目的の機能を取り入れる
		集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
		各種見直し	運営方法、使用料等を見直す
		広域化	他自治体と共用しコスト分担を行う
		移管	民間へ売却、地域へ譲渡等機能と共に移管する
Ⅱ	見直して存続	多機能化	分類の違う別の目的の機能を取り入れる
		集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
		各種見直し	運営方法、使用料等を見直す
		広域化	他自治体と共用しコスト分担を行う
		移管	民間へ売却、地域へ譲渡等機能と共に移管する
	廃止	民間譲渡	民間業者に売却等
		転用	他の用途に転用を行う
		地域移管	自治会等地域へ移管する
Ⅲ	見直して存続	規模縮小	規模を縮小し立替等を行う
		広域化	他自治体と共用しコスト分担を行う
	廃止	民間譲渡	民間業者に売却等
		機能移転	機能を移転し施設は除却
Ⅳ	廃止	民間譲渡	民間業者に売却等
		除却	施設を除却

## 6 観光・レクリエーション施設一覧及び判断結果

(令和6年3月31日現在)

NO	施設名称	住所	判断結果
1	山崎アウトドアランド	山崎町小茅野 538-37	現状維持
2	伊沢の里	山崎町生谷 214-1	現状維持
3	土万ふれあいの館	山崎町土万 1515-2	各種見直し
4	一宮ウッディパークキャンプ場	一宮町伊和 872-49	各種見直し
5	一宮温泉「まほろばの湯」	一宮町三方町 624-1	現状維持
6	道の駅「播磨いちのみや」	一宮町須行名 510-1	現状維持
7	しそ森林王国いちのみや拠点施設	一宮町千町 468-2	各種見直し
8	千町岩塊流バイオトイレ	一宮町千町 509-65	現状維持
9	氷ノ山避難小屋	波賀町戸倉地内	現状維持
10	道の駅「みなみ波賀」	波賀町安賀 8-1	現状維持
11	音水湖クラブハウス	波賀町引原 328-44	現状維持
12	宍粟市波賀サイクリングターミナル (ゲートボール場)	波賀町原地内	現状維持
13	赤西便所	波賀町原地内	現状維持
14	道の駅「はが」	波賀町原 149	現状維持

NO	施設名称	住所	判断結果
15	グリーンハウス みちの丘	波賀町原 560-1	現状維持
16	楓香荘	波賀町原 625	現状維持
17	原不動滝公衆トイレ	波賀町原 625	現状維持
18	森林セラピー避難小屋	波賀町原地内	現状維持
19	坂ノ谷登山口バイオトイレ	波賀町戸倉地内	現状維持
20	戸倉スキー場	波賀町戸倉 207	現状維持
21	くるみの里	波賀町鹿伏 175-10	現状維持
22	フォレストステーション波賀	波賀町上野 1799-6	現状維持
23	道の駅「ちくさ」	千種町下河野 745-5	現状維持
24	板馬見溪谷荘	千種町河呂 593-1	現状維持
25	ふれあいゲートボール場	千種町室 1060-1	現状維持
26	ちくさ高原	千種町西河内 1047-218	現状維持
27	ちくさ高原キャンプ場 (入浴及びシャワー施設)	千種町西河内 1047-215	現状維持
28	みかたの里 まほろばの湯 オートキャンプ場	一宮町三方町 685 他	現状維持

## 7 観光・レクリエーション施設全体の現状及び課題等について

市内の公共の観光・レクリエーション施設は28か所あり、それぞれ地域産業の活性化に資する目的で観光拠点施設として設置されています。

運営形態は、市の直営管理、指定管理者制度による管理、地元等への管理委託、地元管理の4つの形態をとっています。

施設の維持管理経費は市が負担しており、限られた予算の中でこれらの公共施設を維持管理していくには、より効率的な機能や管理方法が求められています。

施設によっては経年による劣化がみられ、それに対する必要最小限の修繕を行い適正に維持管理を行っていますが、これらにかかる経費は年々増加しています。また、今後は施設を維持していく上で、大規模改修が必要となることも想定されます。

## 8 観光・レクリエーション施設全体の整備に係る基本方針

観光・レクリエーション施設全体について、今後は施設の機能、規模、配置等を総合的に分析し、各種調整を図りながら、可能な限り施設の集約化、多機能化、譲渡、移管等を進め、効率的な施設整備を行っていきます。

今後も現状を維持していく施設については、安全面を優先しつつ、コスト面も考慮しながら必要な修繕を行い、適正な維持管理に努めていきます。

9. 施設の現状及び今後の方向性について

NO	1	分類	観光・レクリエーション施設		所管課	商工観光課	
施設名	山崎アウトドアランド			建物名	体験交流センターほか		
所在地	山崎町小茅野538-37			延床面積(合計)	334.67㎡	主体構造	木造
建築年	1993年	耐用年数	24年	取得価格(合計)	80,607,890円	建物数	3
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-7年		-29%		C(劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
b(普通)		b(普通)	b(普通)	b(普通)	B		
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
		建物名		実施時期	診断結果等		
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果		存続廃止分類	Ⅱ(見直して存続)		判断結果	現状維持	
施設の今後の方向性		指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。					
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業				概算額(千円)		備考	

NO	2	分類	観光・レクリエーション施設		所管課	商工観光課	
施設名	伊沢の里			建物名	宿泊・温泉施設ほか		
所在地	山崎町生谷214-1			延床面積(合計)	2,299.78㎡	主体構造	鉄筋コンクリート造
建築年	1998年	耐用年数	47年	取得価格(合計)	679,659,999円	建物数	5
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		21年		44%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
a(高い)		b(普通)	c(低い)	b(普通)	B		
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
		建物名		実施時期	診断結果等		
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果		存続廃止分類	Ⅰ(存続)		判断結果	現状維持	
施設の今後の方向性		指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。					
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業				概算額(千円)		備考	

NO	3	分類	観光・レクリエーション施設		所管課	農業振興課	
施設名	土万ふれあいの館			建物名	交流館		
所在地	山崎町土万1515-2			延床面積（合計）	263.56㎡	主体構造	木造
建築年	2005年	耐用年数	15年	取得価格（合計）	60,595,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-4年		-26%		B（部分劣化）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a（高い）	b（普通）	c（低い）	b（普通）	B	
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名			実施時期	診断結果等		
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ（見直して存続）		判断結果	各種見直し		
施設の今後の方向性	施設のあり方や運営方法等について見直しを行う。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業				概算額（千円）	備考		

NO	4	分類	観光・レクリエーション施設		所管課	まちづくり推進課	
施設名	一宮ウッディパークキャンプ場			建物名	炊事棟ほか		
所在地	一宮町伊和872-49			延床面積（合計）	127.6㎡	主体構造	木造
建築年	1991年	耐用年数	22年	取得価格（合計）	22,332,000円	建物数	2
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-11年		-50%		B（部分劣化）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b（普通）	b（普通）	c（低い）	c（低い）	C	
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名			実施時期	診断結果等		
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅲ（廃止）		判断結果	各種見直し		
施設の今後の方向性	指定管理施設として、施設の適正な維持管理に努めるとともに、将来的には、施設の譲渡又は、廃止についても検討する。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業				概算額（千円）	備考		

NO	5	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	一宮温泉「まほろばの湯」		建物名	温泉施設ほか			
所在地	一宮町三方町624-1		延床面積(合計)	899.98㎡	主体構造	木造	
建築年	2002年	耐用年数	22年	取得価格(合計)	340,967,500円	建物数	3
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		0年		0%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a(高い)	b(普通)	c(低い)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	6	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	道の駅「播磨いちのみや」		建物名	道の駅			
所在地	一宮町須行名510-1		延床面積(合計)	742.㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	2001年	耐用年数	31年	取得価格(合計)	173,880,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		8年		25%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	7	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	しそ森林王国いちのみや拠点施設		建物名	総合作業施設ほか			
所在地	一宮町千町468-2		延床面積(合計)	218.08㎡	主体構造	木造	
建築年	2002年	耐用年数	24年	取得価格(合計)	87,013,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		2年		8%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	c(低い)	c(低い)	b(普通)	C	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅲ(廃止)		判断結果	各種見直し		
施設の今後の方向性	施設の使用状況等を精査し、地域移管や民間譲渡等を検討していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	8	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	千町岩塊流バイオトイレ		建物名	トイレ			
所在地	一宮町千町509-65		延床面積(合計)	6.㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	2014年	耐用年数	31年	取得価格(合計)	6,180,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		21年		67%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅰ(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	9	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課		
施設名	氷ノ山避難小屋		建物名	避難小屋			
所在地	波賀町戸倉地内		延床面積(合計)	10.2㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	1982年	耐用年数	31年	取得価格(合計)	1,448,400円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-11年		-35%		C(劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
b(普通)		a(高い)	c(低い)	a(高い)	B		
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	10	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	道の駅「みなみ波賀」		建物名	食材供給施設、展示直売所ほか			
所在地	波賀町安賀8-1		延床面積(合計)	1,313.14㎡	主体構造	木造	
建築年	1995年	耐用年数	24年	取得価格(合計)	298,297,920円	建物数	6
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-5年		-20%		C(劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
a(高い)		b(普通)	b(普通)	b(普通)	B		
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	II(見直して存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	11	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	音水湖クラブハウス		建物名	クラブハウス			
所在地	波賀町引原328-44		延床面積(合計)	441.59㎡	主体構造	鉄筋コンクリート造	
建築年	2010年	耐用年数	50年	取得価格(合計)	123,609,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		36年		72%		A(健全)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	12	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	波賀サイクリングターミナル		建物名	ゲートボール場、トイレほか			
所在地	波賀町原地内		延床面積(合計)	474.5㎡	主体構造	木造	
建築年	1992年	耐用年数	15年	取得価格(合計)	59,698,000円	建物数	3
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-17年		-113%		D(顕著に劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a(高い)	b(普通)	c(低い)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	II(見直して存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	当面の間、市の直営管理とし必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	13	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	赤西便所		建物名	公衆トイレ			
所在地	波賀町原地内		延床面積(合計)	16.7㎡	主体構造	木造	
建築年	2017年	耐用年数	15年	取得価格(合計)	2,268,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		8年		53%		A(健全)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
		建物名		実施時期	診断結果等		
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果		存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持	
施設の今後の方向性		必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。					
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業				概算額(千円)		備考	

NO	14	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	道の駅「はが」		建物名	レストハウス			
所在地	波賀町原149		延床面積(合計)	48.㎡	主体構造	木造	
建築年	1990年	耐用年数	24年	取得価格(合計)	6,861,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-10年		-41%		C(劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a(高い)	b(普通)	b(普通)	c(低い)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
		建物名		実施時期	診断結果等		
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果		存続廃止分類	II(見直して存続)		判断結果	現状維持	
施設の今後の方向性		指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。					
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業				概算額(千円)		備考	

NO	15	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	グリーンハウス みちの丘		建物名	森林生態学習舎ほか			
所在地	波賀町原560-1		延床面積（合計）	455.66㎡	主体構造	木造	
建築年	1987年	耐用年数	24年	取得価格（合計）	81,730,580円	建物数	6
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-13年		-54%		C（劣化）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
b（普通）		b（普通）	b（普通）	a（高い）	B		
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ（見直して存続）		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額（千円）	備考			

NO	16	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課		
施設名	楓香荘		建物名	自転車倉庫 ほか			
所在地	波賀町原625		延床面積（合計）	282.06㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	1990年	耐用年数	31年	取得価格（合計）	26,830,000円	建物数	2
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-3年		-9%		B（部分劣化）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
b（普通）		b（普通）	b（普通）	b（普通）	B		
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅰ（存続）		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	楓香荘の本館は除却し、残りの付属施設については、必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額（千円）	備考			
休憩施設整備			157,000	R6年度 完成予定			

NO	17	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	原不働滝公衆トイレ		建物名	公衆トイレ			
所在地	波賀町原625		延床面積(合計)	12.99㎡	主体構造	コンクリートブロック造	
建築年	1979年	耐用年数	34年	取得価格(合計)	4,169,790円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-11年		-32%		A(健全)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	c(低い)	b(普通)	C	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ(見直して存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	18	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課		
施設名	森林セラピー避難小屋		建物名	避難小屋			
所在地	波賀町原地内		延床面積(合計)	32.㎡	主体構造	木造	
建築年	2016年	耐用年数	17年	取得価格(合計)	4,563,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		9年		52%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅰ(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	19	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課		
施設名	坂ノ谷登山口バイオトイレ		建物名	公衆トイレ			
所在地	波賀町戸倉地内		延床面積(合計)	5.94㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	2017年	耐用年数	31年	取得価格(合計)	11,815,200円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		24年		77%		A(健全)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a(高い)	b(普通)	b(普通)	a(高い)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	20	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	戸倉スキー場		建物名	店舗事務所ほか			
所在地	波賀町戸倉207		延床面積(合計)	495.19㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	2004年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	117,962,400円	建物数	3
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		18年		47%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			
リフト整備			20,500				

NO	21	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	くるみの里		建物名	林業者健康増進施設ほか			
所在地	波賀町鹿伏175-10		延床面積(合計)	1,066.91㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	1985年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	245,845,300円	建物数	9
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-1年		-2%		C(劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	b(普通)	b(普通)	b(普通)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ(見直して存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	22	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	フォレストステーション波賀		建物名	宿泊、温泉保養施設ほか			
所在地	波賀町上野1799-6		延床面積(合計)	4,077.15㎡	主体構造	鉄筋コンクリート造	
建築年	1999年	耐用年数	47年	取得価格(合計)	1,214,106,000円	建物数	22
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		22年		46%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a(高い)	b(普通)	b(普通)	c(低い)	B	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ(見直して存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			
ボイラー修繕			11,218				
宴会場避難経路修繕			2,156				

NO	23	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	道の駅「ちくさ」		建物名	レストハウスほか			
所在地	千種町下河野745-5		延床面積（合計）	378.86㎡	主体構造	木造	
建築年	1991年	耐用年数	15年	取得価格（合計）	78,984,040円	建物数	3
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-18年		-120%		C（劣化）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b（普通）	a（高い）	a（高い）	b（普通）	A	
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ（見直して存続）		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額（千円）	備考			
エアコン修繕			2,500				

NO	24	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	板馬見溪谷荘		建物名	山荘			
所在地	千種町河呂593-1		延床面積（合計）	54.㎡	主体構造	木造	
建築年	2006年	耐用年数	15年	取得価格（合計）	6,858,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-3年		-20%		B（部分劣化）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		c（低い）	b（普通）	b（普通）	b（普通）	C	
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	Ⅱ（見直して存続）		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額（千円）	備考			

NO	25	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	千種保健福祉課		
施設名	ふれあいゲートボール場		建物名	屋内ゲートボール場			
所在地	千種町室1060-1		延床面積(合計)	1,446.㎡	主体構造	鉄骨造	
建築年	2002年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	109,709,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		16年		42%		B(部分劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		a(高い)	a(高い)	b(普通)	b(普通)	A	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I(存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	必要な修繕、改修を行い施設を適正に維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			

NO	26	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	ちくさ高原		建物名	総合案内施設ほか			
所在地	千種町西河内1047-218		延床面積(合計)	3,882.05㎡	主体構造	木造	
建築年	1987年	耐用年数	24年	取得価格(合計)	806,391,040円	建物数	11
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		-13年		-54%		C(劣化)	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b(普通)	a(高い)	a(高い)	a(高い)	A	
耐震工事(診断)の有無(予定含む)							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	II(見直して存続)		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度(令和7年度)までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額(千円)	備考			
ゲレンデ照明配線工事			12,000				
リフト整備			41,690				

NO	27	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	商工観光課・北部事務所		
施設名	ちくさ高原キャンプ場（入浴施設）		建物名	入浴施設			
所在地	千種町西河内1047-215		延床面積	49.00㎡	主体構造	木造	
建築年	2021年	耐用年数	12年	取得価格	18,590,000円	建物数	1
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		9年		75%		A（健全）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b（普通）	a（高い）	a（高い）	b（普通）	A	
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I（存続）		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額（千円）	備考			

NO	28	分類	観光・レクリエーション施設	所管課	一宮まちづくり推進課		
施設名	みかたの里 まほろばの湯オートキャンプ場		建物名	炊事棟			
所在地	一宮町三方町685ほか		延床面積（合計）	28.82㎡	主体構造	木造	
建築年	2023年	耐用年数	20年	取得価格（合計）	7,133,693円	建物数	4
施設の現状	ハード面	残償却年数		建物残償却割合		ハード面判定	
		19年		95%		A（健全）	
	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト面判定	
		b（普通）	a（高い）	b（普通）	b（普通）	B	
耐震工事（診断）の有無（予定含む）							
	建物名		実施時期	診断結果等			
耐震工事							
耐震診断							
今後の方向性							
方向性判断の結果	存続廃止分類	I（存続）		判断結果	現状維持		
施設の今後の方向性	指定管理施設として引き続き必要な修繕、改修を行い、施設を維持管理していく。						
今後、2025年度（令和7年度）までに行う予定の事業等							
大規模改修・修繕・廃止等の事業			概算額（千円）	備考			